

① 藤井四段の快進撃の要因を二つ、記事の「リード」の部分の言葉を使って書きましよう。

持ち前の集中力と、温かく見守り才能を育ててきた母親や指導者ら。

② 藤井四段が小学校までに、将棋以外に熱中したことを四つ挙げてください。

プラレール、ボール遊び、迷路作り、読書

③ 藤井四段の母親が、藤井四段のために普段やっていることをまとめてください。

何かに集中しているときは極力邪魔しないようにし、普段は勝ち負けの話はしない。

快進撃生む集中力



沢田真吾六段を破り、公式戦連勝記録で歴代最多に並ぶ28連勝を達成した藤井聡太四段。21日午後、大阪市の関西将棋会館。

14歳藤井四段28連勝

母親ら温かく支える

プロデビューから約半年で「28」の最多連勝記録に肩を並べた最年少棋士で、3歳の藤井聡太四段(14)。白星を重ねる快進撃の要因は、幼少期から将棋でも遊びでも好きなことに打ち込んできた持ち前の集中力だ。そばには温かく見守り、才能を育ててきた母親や指導者らの姿があった。

「頭が割れそう」「考えすぎて頭が割れそう」。幼稚園児だった藤井四段が難解な詰将棋に挑んだ際に口にした言葉といきは極力、邪魔しないようにしている。

「頭が割れそう」「考えすぎて頭が割れそう」。幼稚園児だった藤井四段が難解な詰将棋に挑んだ際に口にした言葉といきは極力、邪魔しないようにしている。

藤井聡太四段の公式戦全成績

対局日	棋戦名	対戦相手
1 2016年12月24日	竜王戦 =現役最年長棋士から初戦白星	加藤一二三九段
2 17年1月26日	棋王戦	豊川孝弘七段
3 2月9日	竜王戦	浦野真彦八段
4 23日	NHK杯	浦野真彦八段
5 //	//	北浜健介八段
6 //	//	//
7 3月1日	王将戦	有森浩三七段
8 10日	新入王戦	大橋貴洸四段
9 16日	竜王戦	所司和晴七段
10 23日	棋王戦=デビュー連勝記録に並び	大橋貴洸四段
11 4月4日	王将戦=デビュー連勝記録更新	小林裕士七段
12 13日	竜王戦	星野良生四段
13 17日	NHK杯	千田翔太六段
14 26日	棋王戦	平藤真吾七段
15 5月1日	竜王戦	金井恒太六段
16 4日	新入王戦	横山大樹アマ
17 12日	王将戦	西川和宏六段
18 18日	加古川清流戦 =公式戦連勝記録でトップ10入り	西川和宏六段
19 25日	竜王戦=竜王戦決勝トーナメント進出	近藤誠也五段
20 6月2日	棋王戦=棋王戦本戦トーナメント進出	沢田真吾六段
21 7日	上州YAMADAチャレンジ杯 =公式戦連勝記録単独6位	都成竜馬四段
22 //	// =3位タイ	阪口悟五段
23 //	// =単独3位	宮本広志五段
24 10日	叡王戦=2位タイ	梶浦宏孝四段
25 //	// =単独2位	都成竜馬四段
26 15日	名人戦順位戦C級2組	瀬川晶司五段
27 17日	朝日杯将棋オープン戦	藤岡準太アマ
28 21日	王将戦=最多1位タイ	沢田真吾六段

成長の余地あり

藤井四段は将棋界でどこまで勝ち上がるのか。「持っているものが素晴らしいので、意識的に技術指導はしなかった」という師匠の杉本昌隆七段(48)は言葉に力を込める。「完成された将棋と言われるが、まだまだ成長する。順調にいけば数年後には他の棋士が手を付けられない存在になる」

めきめきと上達

サライマンの父と専業主婦の間に生まれた藤井四段が将棋を始めたのは5歳のとき。愛知県瀬戸市の自宅の隣に住む祖母(6)から子ども用の将棋セットをもらい、相手をした祖父(7)故人はすぐに懐が立たなくなって近所の将棋教室に通いだした。1年ほどで20級だった階級を4級まで上げるなどめきめきと上達。6歳の誕生日も熱中したのは将棋以外のこともあり、卓上サッカーゲームは今でもたまに遊んでいる。

日は幼稚園でカードに

「将棋の名人になる」と残っていた。指導した文木力雄さん(62)が「駒を触るのが好きだったんですよ」と話す通り、教室も年3回の合宿も皆勤賞で、要望に応じて週3回の教室を1回増やした時期もあった。負けるといつも泣きじゃくったが「心行くまで泣かせた」と